

## 支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和6年9月13日

事業実施地区	篠ノ井川柳方田地区
事業名	市指定文化財石造多層塔保護建屋の屋根再塗装による修繕工事
団体名及び 代表者名	(団体名) 方田石造多層塔保存会 (代表者名) 山本 正泰 (連絡先) 090-9018-2140

## ■事業概要（選考委員会の助言を含む）

当保存会で維持管理している石造多層塔を保護する為の鉄骨、トタン屋根造り建物が経年劣化で錆が進行し、そのまま放置すると修繕では対応できない状態になってしまう。これ以上錆が進行すると修繕が難しくなる屋根を先ず再塗装による修繕を行い、建物の延命化を図る。これにより文化財本体の保護機能を維持することができる。	【事業完了日】 令和6年9月6日 【総事業費】 116,000円 【補助金額】 100,000円
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------

※活動状況や備品の表示がわかる写真・成果物等を別途添付

## ■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

屋根部分は再塗装により、非常に奇麗になった。当保護建屋の美観も改善され、錆の進行を抑えることができる。当初の目的である保護建屋の延命化が図れ、文化財本体の保護目的を永続できる。昭和の時代にこの地区の先人たちの熱意により建てられた保護建屋を維持し、風化しやすい石材で造られた石造多層塔本体を次の世代へと引き継ぐことができる。

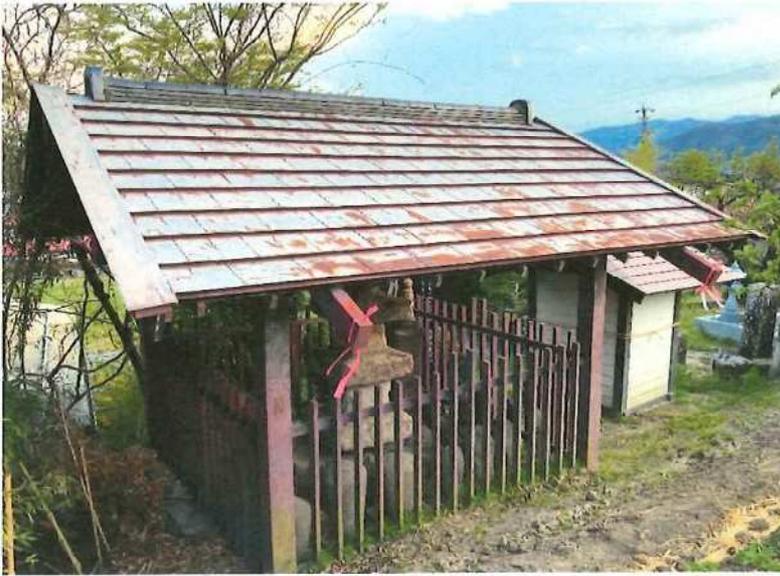
※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

## ■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容		○		
事業の効果		○		
特記事項 (評価理由等)	建屋化粧直しを機に地域の皆さんへ石造多層塔の存在を改めてアピールしたい。			

## ■今後の取組予定

従来から行っている石造多層塔周辺の清掃、環境維持作業は引き続き行います。屋根下の鉄骨柱柵部分の再塗裝修繕も予算の用途が付き次第施工したい。また、篠ノ井地区住民自治協議会だより「レインボータウンしののい」への記載等で支所発地域力向上支援金事業活用での修繕紹介と石造多層塔の存在を周知したい。



方田石造多層塔保護建物全景  
施工前

---



今回再塗装による修理を  
予定する屋根の状態 1  
施工前

---



屋根の状態 2  
施工前

---



石造多層塔保護建物全景北面  
施工後

---



今回再塗装による修理を  
実施した屋根の状態北面  
施工後

---



北面屋根の状態  
施工後

---



石造多層塔保護建物全景南面  
施工後



今回再塗装による修理を  
実施した屋根南面  
施工後

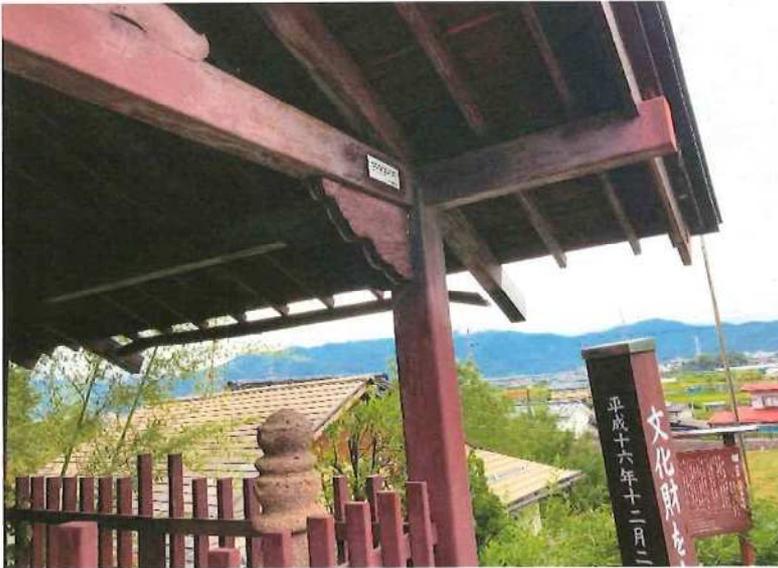


南面屋根の状態  
施工後



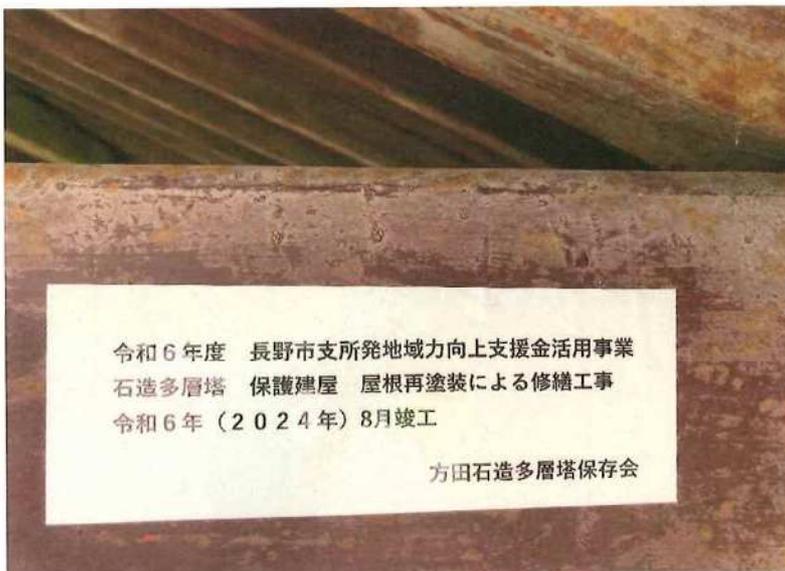
支援金事業表示板位置 1

---



支援金事業表示板位置 2

---



支援金事業表示板

---

令和6年度 長野市支所発地域力向上支援金活用事業  
石造多層塔 保護建屋 屋根再塗装による修繕工事  
令和6年(2024年)8月竣工

方田石造多層塔保存会

# 支所発地域力向上支援金 事業評価(篠ノ井支所)

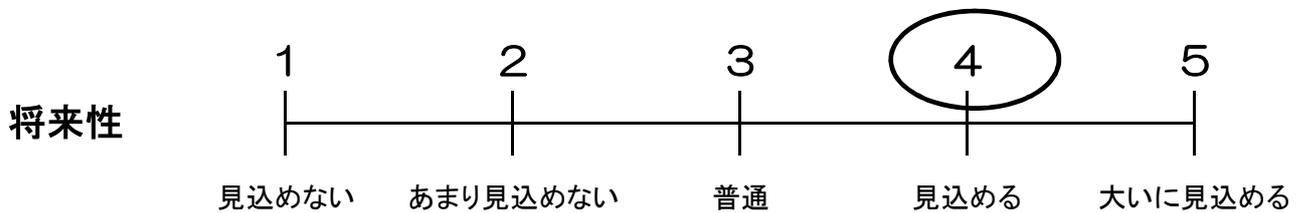
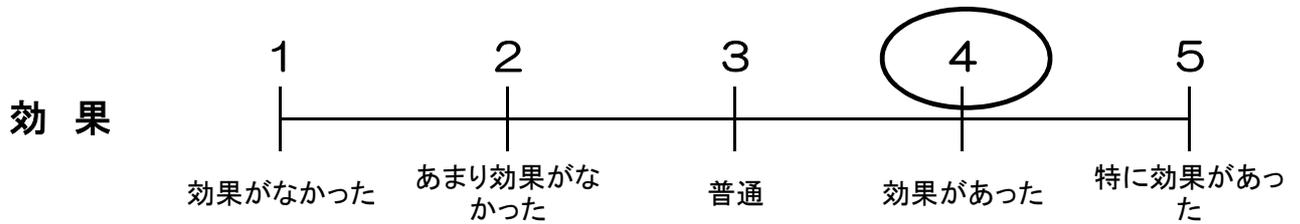
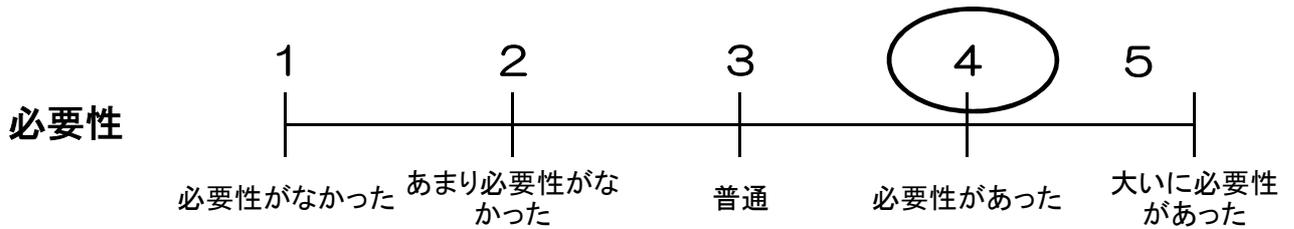
令和6年9月20日

<b>事業名</b>	市指定文化財石造多層塔保護建屋の屋根再塗装による修繕事業
------------	------------------------------

<b>団体名</b>	方田石造多層塔保存会
------------	------------

評価項目 (選考基準の視点で評価)

<b>事業区分</b>	教育文化活動
-------------	--------



<b>支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)</b>
保存会が管理している、指定文化財「石造多層塔」を保護する屋根の劣化が進行し、本来の役割が失われかけた状態であったが、今回の修繕によりその機能が回復し文化財本体の風化を防ぐことに繋がった。
この文化財は代々受け継がれてきた地区の宝物である。今の状態を維持しながら次の世代へと継承されるよう、引き続き周りの環境整備も含め適切な管理に努めていただきたい。